

\*\*\*\*\*  
【ケアプロ通信 vol.46】9 月度:ニュース 新サービス『ケアプロおかん』はじまります！  
\*\*\*\*\*  
平素より、お世話になっております。

不安定な天気が続いておりますが、みなさまはお変わりございませんでしょうか。  
キンモクセイの甘い香りに癒されながら、夏の終わりを感じております。

ケアプロでは3ヶ月(Quarter)ごとに、全社経営会議を開催しております。  
その3ヶ月の中で顕著に活躍をしたスタッフは表彰され(Q 表彰)報奨金が支給されます。  
その間にお誕生日を迎えたスタッフには、ちよっぴりプレゼントも！

季節ごとに見える景色や、風の匂いもかわりますが  
ケアプロも、出会いと別れを繰り返して日々、変化・進化をしています。  
変わらないもの。  
それは、「革新的なヘルスケアサービスをプロデュースし、健康的な社会づくりに貢献する」  
というミッションのもと、皆様の健康を応援したいという、スタッフの強い信念です。

いつも応援いただいている皆様へ感謝の気持ちを忘れずに、  
こちらからも走り続けたいと思っております。

それでは、9 月度のニュースをお届けいたします。



\*\*\*\*\*

▼代表 川添高志からのメッセージ

\*\*\*\*\*

【大河は誰のものか？】

9月は滞在先の南インドで、  
水利をめぐる暴動が起き、  
外出禁止令まで出ました。

この背景には信濃川の約2倍の長さの  
Cauveryという大河の利権争い、  
つまり、政治の問題があったのです。

生活用水が自宅にないスラム居住者が  
IT都市バンガロール人口の30%もあり、  
松下幸之助氏のいう水道哲学が必要です。

このインドという巨大国家の内情は、  
多様な宗教、民族が、微妙な均衡を  
奇跡的に保っている状況。

国家として、医療、教育、水、道路など  
インフラ整備がどのように進められるのか。

大河は誰のものか？を考えさせられました。

川添高志



\*\*\*\*\*

▼ 予防医療事業部より9月度進捗のお知らせ

\*\*\*\*\*

■ ケアプロおかんリリース記者会見を行いました！

8月31日、株式会社おかん様との提携及び新サービスご案内について、記者会見をさせていただきました。14社のマスメディアの方にお越しいたごき、記者クラブへの投稿もさせていただきました。

これから、ベンチャー、中小企業などの職場に、健康をデリバリーし、日々の食と定期的な健康チェックで健康サイクルをしっかりと回すお手伝いをしていきます。

▼ 新サービス『ケアプロおかん』申し込み開始いたします！

[http://carepro.co.jp/about/CareproOkan\\_20160831\\_1630\\_final.pdf](http://carepro.co.jp/about/CareproOkan_20160831_1630_final.pdf)

■ NHKでケアプロの事業にふれていただきました。

9月19日の「NHKスペシャル 私たちのこれから #健康格差」にてケアプロのパチンコ店での出張イベントなどについて議論のなかで紹介いただきました。

これからは「誰でも当たり前健康になれる世の中」のために、

手軽で安心なセルフ健康チェックを広めていきたいと思ひます。

▼ 動画で見る健康格差

<http://www.nhk.or.jp/ourfuture/vol6/movie/>



\*\*\*\*\*

▼在宅医療事業部より9月度進捗のお知らせ

\*\*\*\*\*

▼現場から

ケアプロはこの度訪問件数が過去最高となり、昨年度比で約150%成長となりました。  
居宅支援事業所も開始したことで、より多くの方にご依頼を頂けるようになってきています。  
これもひとえに、ケアプロを日々応援頂いている皆様のお陰です。  
これからも24時間365日、地域に貢献し続けられるよう頑張りたいと思います！

▼学会で発表しました

日本看護学教育学会にて  
「新卒訪問看護師を育てよう～ケアプロ訪問看護ステーション東京の事例から～」  
の題で発表し、歴代新卒が四代揃って登壇しました。  
終了後もオーディエンスからたくさん質問が聞かれ、盛会のうちに終了致しました。  
引き続き、新卒訪問看護師の活躍に貢献出来るよう尽力して参ります！



\*\*\*\*\*

▼国際医療事業部より9月度進捗のお知らせ

\*\*\*\*\*

先日、バンガロールでストライキが暴動に発展しました。

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2016/09/it-2.php>

バンガロールのあるカルナータカ州と、お隣のタミル・ナードゥ州の水利権を巡る争いから発生した今回の暴動。一時はバスが燃え、外出禁止令の出る地域もあるなど、終日ニュースが報道されていました。現地の方にお伺いしても、中々この規模のストはないとのこと。たまたま現地に居合わせた川添と私は、行動を制限せざるを得ませんでした。

中々異国の地におりますと、想定し得ないことも起こるもの。今回に限っては直接的な被害を被ったわけではありませんでしたが、いつ何時でも落ち着いて対応できるよう、危機管理対応を振り返るよき機会となりました。

尚、本件は数日後には街も落ち着きを取り戻し、日常が戻りました。また肅々と、事業開発に勤しみます。

